

環境活動実施事業者のための

エコアクション認証取得支援 Eco-CRIP支援

①エコアクション21の概要について

持続可能な社会を構築するためには、あらゆる事業者が積極的に環境への取り組みを行うことが必要です。事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減等の取り組みを行うことが求められています。

エコアクション21は、全ての事業者が、環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境に取組む仕組みを作り、取り組みを行い、それらを継続的に改善し、その結果を社会に公表する環境省が策定したガイドラインです。

②ECO-CRIPの目的

気候変動の原因であるCO2排出削減は、全人類が一丸となって取り組むべき喫緊の課題であり、中堅・中小事業者等も積極的に取り組むことが求められています。

本プログラムは、エコアクション21ガイドラインの考え方を参考に、より多くの中堅・中小事業者等がCO2排出削減に取り組めるように策定した「エコアクション21CO2削減プログラムの手引き(2015年度版)」に基づく取組を支援することにより、CO2排出量測定と削減に積極的に取り組む中堅・中小事業者等を増加させ、もって気候変動の解決の一助となることを目的としています。

③ECO-CRIPの概要について

「エコアクション21」をベースにしたCO2削減に特化した簡素な環境経営システムである「エコアクション21CO2削減プログラムの手引き(2015年度版)」に基づき、事業活動に省エネルギーなどの環境保全活動を組み込み、CO2削減とコスト改善等による経営力の強化を図るものです。

当事業に参加する中小事業者の皆さまは、環境省から派遣される環境経営の専門家(支援相談人)と一緒に、環境省が策定したシンプルなお5つの手順に沿って取組を進め、CO2削減の改善効果や環境活動の結果を「見える化」することで、環境保全と事業発展の両立を目指すことができます。

平成27年度のEco-CRIPの流れ



出典：「エコアクション21 CO2削減プログラム」の手引き(2015年度試行版). 環境省,2015, 28p, p.1.

④エコアクション21の取り組み

当社はエコアクション21の構築支援のコンサルティングを行います。更に、エコクリップの支援事業も行います。

【エコアクションの取組み】

1. エコアクション21に取り組む場合の手順は、まず代表者が、エコアクション21に組織全体で取り組むことを決定し、取組対象となる組織と活動の範囲を明確にします。
2. エコアクション21の取組にあたっては、代表者のリーダーシップが何よりも重要です。
3. エコアクション21に取り組むための、実施体制を決めます。そのうえで、環境に関する現状調査(初期調査)として、エコアクション21ガイドラインの環境への負荷の自己チェックの手引きおよび環境への取組の自己チェックの手引きをもとに、事業活動にともなう環境負荷の把握と環境への取組状況、組織に適用される環境関連法規等を把握します。
4. その結果を踏まえて、「環境経営システム」の要求事項にもとづき環境経営システムを構築します。
5. 環境経営システムの構築においては、計画の策定(Plan)、計画の実施(Do)、取組状況の確認および評価(Check)および全体の評価と見直し(Action)のPDCAサイクルを基本とし、この結果を環境レポートとして作成・公表します。
6. このサイクルを繰り返すことにより継続的改善を図っていきます。

⑤ECO-CRIPの取組



- ・支援相談人により、5回の訪問支援(一回半日程度)を受けます。
- ・参加事業者は、地域事務局から派遣された支援相談人による5回の個別訪問支援のもと、「エコアクション21CO₂削減プログラムの手引き(2015年版)」に基づき、CO₂削減のための取組を行います。
- ・5回の個別訪問支援による取組が終了した後、取組期間中のCO₂排出量及び前年同月比のCO₂削減量を算定し取りまとめます。



出典: 「エコアクション21 CO₂削減プログラム」の手引き(2015年度試行版). 環境省, 2015, 28p, p.1.